

7 図画工作・美術

I 本県が目指す図画工作・美術科の授業

対象や事象を造形的な視点で捉え、創造性を豊かに発揮する図画工作・美術科の学習

II 教材研究の充実

図画工作・美術科における教材研究のポイント

中3「カタチが語る今の私・理想の私
～抽象彫刻で表す自分～」の例

学習指導要領に示された目標及び内容を確認する

子供の視点から

素地となる資質・能力の把握

- ▶ 本題材の素地となる資質・能力の定着状況を、前題材までの記録から確認する。

例 1年次の彫刻題材や2年次の抽象画題材の取り組みの状況を確認する。

児童生徒の実態

- ▶ 子供が本題材の価値や魅力を感じ、興味や関心をもてそうかを検討する。

例 今後の進路に向けて自分を見つめ直す機会と捉え、どんな自分に焦点を当て、それをどう抽象化するかに面白さを感じるだろう。

題材・教材の視点から

題材の価値や魅力を検討

- ▶ 構想した題材の大まかなイメージを基に、子供が新たな見方で事物を捉えたり、自由な創造性を発揮したりして、資質・能力の育成につながるか検討する。

教師の試作と材料・用具の決め出し

- ▶ 試作を通して、題材の価値や魅力を実感的に捉え、子供が自分なりに追求していく姿が期待できる材料や用具を幅広く検討する。

例 成形の容易な塑像による制作とし、各種粘土による試作を通して粘土の特徴を捉えたり、成形や着色に用いる材料や用具を決め出したりする。

授業で焦点化する造形的な視点の決め出し

- ▶ 教師の試作や収集した実践事例などを基に、本題材で子供の追求を支える造形的な視点を決め出す。

例 形や色彩、質感、それらの組合せがもたらす印象や物語性、具体物や場面の単純化や象徴化などの視点を焦点化する。

学習の過程の視点から

参考作品鑑賞の場面

- ▶ 様々な表現の可能性を感じさせる多様な参考作品を用意し、鑑賞意欲を高める問いかけをしたり、友と対話する場面を設けたりする。
- ▶ 子供の言葉を基に、焦点化したい造形的な視点を追求のキーワードとして位置付ける。

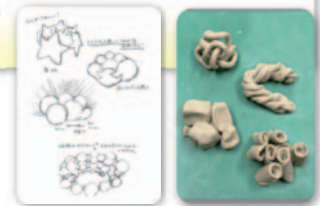
例 幾つかの参考作品とそれらの作品の主題を別々に提示し、どの主題がどの作品のものかをグループで考え合う場面を設ける。

発想・構想の場面

- ▶ 思考ツールを使用してテーマに関することを書き出したり、友と対話したりして表したいことを考える場面を設ける。
- ▶ 作例や技法などについて情報を集めたり、スケッチに表したり、実際に表現の効果を試したりするなど、子供が自分なりの方法で構想を練ることができるようにする。

例 自分の興味あることや自分自身について感じていること、理想の自分像などをイメージマップに表す場面を設ける。

例 クラウドの作例や技法資料を観賞したり、スケッチや油粘土で表現を試したりしながら構想を練ることができるようにする。

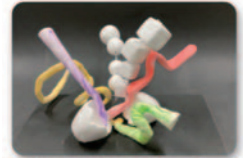


表現の高まりに向けた友との対話・振り返りの充実

- ▶ 主題が感じられる作品になってきているか自分の制作（製作）を見つめ直し、制作（製作）の悩みや迷いについてアドバイスし合う場面を設ける。
- ▶ 本時の表現の高まりや、次時への願いを振り返りに表す場面を設ける。

例 タブレット端末で写真に記録していき、表現の高まりを実感できるようにする。

Ⅲ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善例



【学 年】 中学校 第3学年

【題材名】 カタチが語る今の私・理想の私～抽象彫刻で表す自分～（全9時間）

【題材の評価規準】 内容（A表現(1)ア, (2), B鑑賞(1)ア(ア), [共通事項]

知識・技能	思考・判断・表現（発…発想や構想 鑑…鑑賞）	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 抽象的な形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、形のもつよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 粘土の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。</p>	<p>発 自分を見つめて感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、形や色彩、抽象化などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

【主な学習活動と評価計画】

(☆…「評定に用いる評価」、♡…「学習改善につなげる評価」)

時	○学習活動 生徒の意識 (端末と クラウド の活用例)	評価の観点			評価方法	授業改善の視点 取組の具体例
		知	思	態		
1. 2	<p>【ねらい】 自分を見つめて感じ取ったことや考えたことなどを基に自分の表したい感じを捉える。</p> <p>○参考作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりし、自分なりに表してみたいという思いをもつ。</p> <p>○自分の興味のあることや内面、自分の夢などをイメージマップに書き出し、それを基に主題を生成する。</p> <p> 自分には様々な夢や可能性があるということを表したいな。</p>	♡知	♡発	☆鑑	<p>題材の造形的な視点を捉える</p> <p>追求の支えとなる造形的な視点を捉えることができるように、参考作品の鑑賞から、形や色彩、質感、それらの組合せがもたらす印象や物語性、具体物や場面の単純化や象徴化などについて焦点化します。</p> <p>☆発 主題を考えることができたか、対話やワークシートなどから評価する。</p>	
	<p>題材の学習問題：自分の主題をどのように抽象彫刻に表していったらよいだろうか。</p>					
3. 8	<p>【ねらい】 形や色彩、それらの組合せがもたらすイメージや、具体的な事物の単純化や象徴化など、整理した造形的な視点を基に、自分の内面を彫刻に表す。</p> <p>○形からくる印象を生かしたり、具体場面を単純化して表したりするなど、様々な表し方を試しながら自分の主題に合った表現の構想を練る。</p> <p> 自分を象徴させた球から幾つもの棒を飛び出させて、自分の可能性の広がりを表そう。</p> <p>○グループでアドバイスし合い、課題の解決策を基に制作する。</p> <p>ただの球じゃなくて、自分を何か象徴させたらどうかな？ </p> <p>理想の優しい自分をハートで表してみようかな。やってみよう。</p> <p> ハートが割れているみたいになった…。そうだ、まだ殻の中にいる自分を卵として表してみよう。</p> <p>○表し方を工夫し、完成させる。</p>	♡知	♡発	☆鑑	<p>作例や技法についての情報を集めたり、自分なりの方法で試したりしながら構想を練る</p> <p> 本やインターネットから情報を得たり、スケッチでアイデアを表したり、素材に触れながらアイデアを試したりし、自分なりの方法で構想を練ります。</p> <p>☆発 造形的な視点を基に、表したいことが表れるように構想を練っているかを、活動の姿やワークシートなどから評価する。</p> <p>友のアドバイスを基に表し方を工夫する</p> <p>主題に照らして現段階の制作の迷いや悩みを捉え、友と互いにアドバイスし合って、表現を高めていけるようにします。</p> <p>☆知 造形的な視点を基に、表したいことに合わせて工夫して表していたかを、活動の姿やワークシートなどから評価する。</p>	
	<p>【ねらい】 友の表現の意図や工夫から表現のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める。</p> <p>○学級全体やグループで互いの表現のよさを感じ取り、伝え合う。</p> <p> 自分の殻を破って可能性を広げる感じを象徴化を用いて表すことができた。Aさんの表現は「表の自分と裏の自分」という二面性の感じが形や色彩から伝わってきていいな。</p>	☆鑑	☆鑑	☆鑑	<p>見方や感じ方を深める</p> <p>造形的な視点を基に、自他の表現の意図と工夫について、表現のよさを捉える場を設定します。</p> <p>☆鑑 見方や感じ方を深めている姿を、鑑賞カードや活動中の発言などから評価する。</p> <p>☆態表 活動全体を通して把握し、最後に記録などから総合的に評価する。</p>	